

広報 心ながた



8月24日
奉納さばね山相撲大会
(猿羽根山相撲場)

特集「確率5%～新庄盆地断層帯～」②～⑨

も 第31回 ふながた若鮎まつり ⑩⑪

く 学校保健委員会だより ⑬

じ まちのわだい ⑭⑮

舟形町名誉町民 大場啓二氏を偲んで ⑳

2011年

No. 631

9

□**新庄盆地断層帯の位置と形態**
 新庄盆地断層帯は、新庄盆地の東縁と西縁に位置する活断層帯です。その分布形態から「新庄盆地断層帯東部」と「新庄盆地断層帯西部」に今回新たに区分されました。

東部は、舟形町から新庄市に至る断層帯で、長さは約22km。概ね北東から南南西方向に延びています。西部は、鮭川村から大蔵村に至る断層帯です。長さは約17kmで、ほぼ南北方向に延びています。【図1】

□**直下型地震**
 陸域の活断層によって発生する地震は直下型地震の代表です。【図2】プレート境界型地震と比べて規模（マグニチュード）が小さいのが普通ですが、生活の間である内陸部で発生するため、たびたび大被害が発生しています。

記憶に新しい阪神・淡路大震災も直下型地震であり、6,000人以上の人命が失われています。また、濃尾地震のマグニチュードは8.0であり、直下型の地震でもプレート境界型の地震に匹敵するような大規模の地震が起こる可能性があることを示しています。【表1】

【表1】過去の直下型地震被害

*被害の大きかった地震順

- 濃尾地震（濃尾大震災）
 明治24年10月28日（M8.0）
 死者7,273人、負傷者17,175人
 住家被害：14万2177戸
- 兵庫県南部地震（阪神・淡路大震災）
 平成7年1月17日（M7.3）
 死者6,434人、負傷者43,792人、行方不明者3人
 住家被害：約64万戸
- 新潟県中越地震
 平成16年10月23日（M6.8）
 死者68人、負傷者4,805人
- 新潟県中越沖地震
 平成19年7月16日（M6.8）
 死者15人、負傷者2,345人

【図1】新庄盆地断層帯の様子



【表2】新庄盆地断層帯を震源とした地震の予測震度

震度	東部 (M7.1 程度)	西部 (M6.9 程度)
6強	尾花沢市、新庄市、大石田町、戸沢村	新庄市、戸沢
6弱	舟形町、新庄市、最上町、村山市など	新庄市、鮭川村、大蔵村、庄内平野
5強	最上郡の広い範囲、山形盆地、庄内平野など	舟形町、遊佐町から鶴岡市の広い範囲など

【図2】直下型の地震のメカニズム



□**東部は高いグループに**
 新庄盆地断層帯については、平成14年に長期評価が公表されていますが、平成19年度に（独）産業技術総合研究所が行なった補充調査などによって新たなデータが得られたことから、今回再評価が行われました。

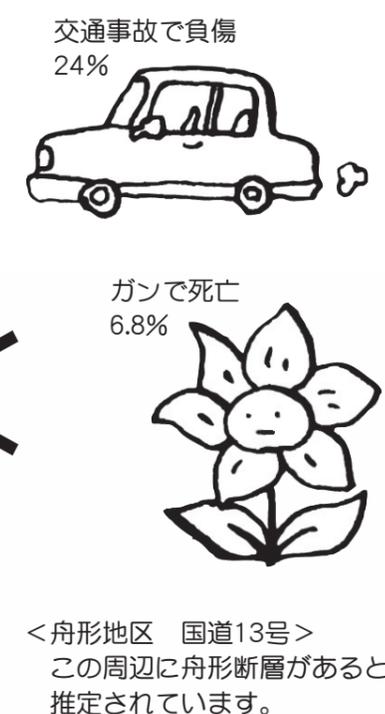
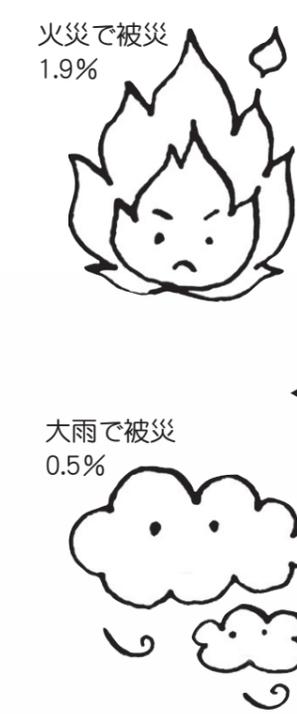
断層帯東部では、断層帯全体が一つの活動区間として活動した場合、M7.1程度の地震が発生する可能性があり、今後30年の間に地震が発生する確率は5%以下と改訂されました。一方、断層帯西部については、M6.9程度の地震が発生する可能性があり、30年以内に地震が発生する確率は0.6%と評価されました。この地震発生の確率は、国内の主な活断層の中で、東部は高いグループに、西部はやや高いグループに属することになりました。

□**もしこの地震が発生したら**
 断層帯東部が1つの区間として活動する地震が発生した場合には、尾花沢市、大石田町で震度6強、舟形町では震度6弱の強い揺れが予測されます。また、実際の揺れは、予測されたものよりも1〜2ランク程度大きくなる場合もあります。【表2】

活断層である「新庄盆地断層帯東部」で今後30年の間に直下型地震が発生する確率です。

こうして比べてみると「低い」とは言えないレベルではないでしょうか。

確率 5% 以下



高齢者・障がい者



災害時要援護者世帯

- 支援者は、自らの避難と安全確保をした上で、要援護者の避難誘導、救出活動、安否確認を行なってください。状況によって地域の方の協力をお願いしてください。
- 避難場所は、原則的に最寄りの『一時避難所』とします。
- 負傷者の手当てと救出活動が必要な場合は、関係機関に速やかに連絡してください。
- 支援者は、安否確認内容を担当地区民生児童委員に報告してください。
- 安否確認報告を受けた民生児童委員は、町内会長と町に報告してください。情報の伝達方法は、電話、メールなどを利用し、不可能な場合は健康福祉課へ直接お越しください。

災害時要援護者とは・・・
 災害発生時に、情報収集や避難が困難で第三者の支援が必要であると思われる方です。障がいのある方や高齢者のみの世帯など。支援を受けるには町への登録が必要です。

授業中

- 震度5弱以上の場合はバス運行はしません。バス運行中止を防災無線などで周知します。
- 児童・生徒は、保護者や同居家族が迎えに来るまで学校で待機します。
- 保護者や同居家族が、児童・生徒と下校する時は、学校の担当者に氏名と続柄を伝え、確認後に下校してください。
- その他、個別的事項は学校長と相談してください。

登校前

- バスを運行しないので、バスを利用している児童・生徒は、保護者や同居家族が送迎してください。
- 学校が使用不能で、休校する場合は防災無線などで周知します。

開園中

保育園など



- バス運行はしません。バス運行中止を防災無線などで周知します。
- 保護者や同居家族が迎えに来るまで保育園で待機します。
- 保護者が保育時間中に園児を迎えに来られない場合は、保護者などが迎えにくるまで、原則24時間は保護します。その後は町が設置した救護所へ移動します。

開園前

- 施設の設備やライフラインなどを確認し、開園可能であるかを判断後、防災無線などで周知します。
- バスを運行しないので、保護者などが送迎してください。

放課後児童クラブ開所中

- 保護者や同居家族が迎えにくるまで、児童を待機させます。
- 開所中に児童を迎えに来られない場合、保護者などが迎えに来るまで保護します。

地域の安全

消防団員

- 自らの安全を確保した後、消防車両格納庫に集合します。
- 防災無線などでの災害対策本部の指示のもと、町内会長と連携し、部長を中心に巡回や避難誘導を行なってください。



震度

弱

直後、私はどう行動すべきか

「もし」明日、直下型地震が起きたら

もし、新庄盆地断層帯東部で直下型地震が起こった場合、町では次のような被害を想定しています。東日本大震災の経験を踏まえ、自分たちの安心安全を守るためにも次のように行動しましょう。

□想定条件と被害予想	舟形町防災計画（平成12年3月）
地震の震源と規模	震源地：新庄盆地周辺断層帯、震源深さ：35km、規模：M7.0
地震の発生季節等	夏の昼間（風速：2.5 m/s、風向：南東）
建築破壊	全壊（47棟、2.3%）、半壊（141棟）
ライフライン施設	水道の断水世帯（1,734世帯、100%）、 停電世帯（502世帯、28.8%）、 電話被害（308件、15.4%）
建物倒壊及び火災による人的被害	死亡者数（3人、0.04%）重傷者数（14人）負傷者計（97人、1.4%） り災者（660人、8.5%）避難所生活者（272人、3.5%）

災害対策本部設置



法令や防災計画などの定めるところにより、その活動に万全を期します。組織の総力をあげて災害応急活動を行います。

- ▼設置基準／震度6以上の地震が観測された時など
- ▼設置場所／①役場本庁舎3階会議室（→②中央公民館→③舟形小学校）
- ▼本部長／町長

～地震発生後、直ちに収集する情報～

- 町民などの安否に関する情報
 - ・各地区の町民の安否。高齢者、障がい者などの安否
 - ・各地区の児童・生徒、来所者、入所者など施設に滞在するもの
- 防災対策基幹施設の被災の有無に関する情報
 - ・役場庁舎、消防署南支署、駐在所、その他国・県の施設
 - ・道路、水道、電力などのライフライン
- 救助救護基幹施設の被災の有無に関する情報
 - ・病院、診療所など医療、保健衛生関連施設
 - ・学校、文化・体育施設などの避難所相当施設 など

安否確認

情報の伝達方法は？

災害対策本部から安否確認の依頼があった時などは、町内会長・隣組長が自らの安全を確保した後、次の内容を確認し、報告してください。

- 【報告の内容】
- ・町内会全員の数
 - ・負傷などで救助の必要な人の数、氏名
 - ・不在などで確認できない人の数、氏名
 - ・被災した行方不明者の数、氏名
 - ・無事な人の数、氏名

みなさんから災害対策本部へ

- ①電話
- ②災害対策本部へ出向く
- ③広報車・職員・消防団員による巡回の者に伝える

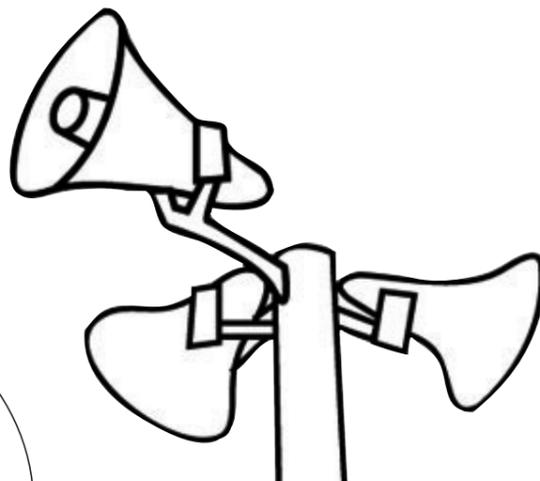
その他：臨時相談所（役場本庁舎1階）

災害対策本部からみなさんへ

- ①防災行政無線
- ②広報車・職員・消防団員による巡回
- その他：サイレン・警鐘

避難の勧告・指示

避難の勧告・指示が発令された場合や家屋にとどまることが危険な状態の時は、避難所に自主的に避難してください。原則、地区公民館などの「一時避難所」に避難して、近隣の方が無事かどうかの確認を行なった後、「広域避難所」に移動します。それ以外の場合は、最寄りの避難所に避難してください。
 ※避難所は、町防災マップや広報ふながた4月号などをご覧ください。



避難勧告・指示

緊急放送・緊急放送。こちらは舟形町災害対策本部です。避難命令が出ました。〇〇地区は〇〇の危険があります。住民のみなさんは直ちに避難してください。避難所は◇◇です。
 なお、現場に警察官や町職員、消防職員・団員がいる場合はその指示に従って避難してください。

「一時避難所」

責任者：町内会長や自主防災組織の長

【安否確認】

隣組長の協力を得て町内会長が確認し、災害対策本部へ報告する。

指示により避難

「広域避難所」

責任者：派遣される役場職員など

【避難スペース確保】
災害弱者を優先にスペースを確保する。

【安否確認】
特に高齢者・障がい者などの安否を確認し、報告する。

【移送措置】
負傷者、病人などの移送措置を行う。

【役割分担】
班長、庶務当番などを決定する。

耐震診断・工事

昭和56年以前の本造住宅は、耐震診断を受けて地震に備えましょう。

木造住宅耐震化への手順は？



パンフレットによる簡易な自己診断ができます。



- ◆**主な工事例と工事費の目安は？**
壁の補強（構造用合板）：6～10万円
壁の新設（筋かい）：12～18万円
基礎の補強：3万円/m
- ◆**町の補助はあるの？**
○**舟形町木造住宅耐震診断事業**
新庄最上耐震事務所協会所属の耐震診断士による耐震診断（費用約6万円）
を無料で受けることができます。
- ▼**対象住宅**
・昭和56年5月31日以前に着工の住宅
・在来軸組工法による木造住宅
- ▼**費用** / 自己負担なし
- ▼**募集戸数** / 10戸
- 舟形町木造住宅耐震改修工事補助金**
舟形町木造住宅耐震診断の結果、上部構造評価1.0未満のものを1.0以上に改修する工事の工事費を補助します。
- ▼**補助要件**
・診断の結果、上部構造評価1.0未満のもの
・税などの滞納が無いこと
・町内の法人・個人が施工すること
- ▼**補助金額**
上限60万円（対象経費の1/3）
- ▼**募集戸数** / 5戸
- 問い合わせ**
舟形町地域整備課生活環境班
☎（32）2111（内線441）



農商工業施設

農地・農業用施設・商工業施設

速やかに状況確認を行います。県への被害状況の報告とともに、災害復旧調査を進めます。また、可能な場合は被災状況について産業振興課までお知らせください。

食料の調達

対象者や数量、供給先の優先順位を決定した後、食料の調達ルートを確認します。不足の場合は県へ要請します。また、炊き出し要員の確保を行い、炊事の出来ない被災者に炊き出しを行います。不足の場合は、自衛隊・県への「炊き出し」要請をします。

町道 上下水道、道路

町道の安全確認を行い、通行不能区間があれば通行止めを行います。危険箇所は順次、応急復旧工事を進めます。なお、冬季間は除雪不能になる場合が予想されます。

上水道

水道管の漏水、停電や配水池破損による断水が予想されます。現状確認をして、速やかに応急復旧工事に着手します。必要に応じて、給水車の運行も行います。水の使用を控え、防災無線などの情報にご注意ください。

下水道

破損や停電による断水や下水道処理不能が予想されます。現状確認をして、速やかに応急復旧工事に着手します。必要に応じてマンホールから汚泥の引き抜きを行います。トイレの使用を控え、防災無線などの情報にご注意ください。

町営住宅

建物自体の被害はないと予想されるものの、停電・断水が発生する可能性があります。速やかに安全確認を行います。

避難所に発電機と投光器

東日本大震災の経験や町内会の要望などから、一時避難所・広域避難所に発電機を設置することとしました。災害時に限って地域での照明、暖房機、テレビ、防災無線などの電源確保に活用ください。
 なお、品不足により配布までに時間がかかる場合があります。

▼問い合わせ/
舟形町災害対策本部
☎（32）2111（内線231）



【出力容量】2.0kVA
概ね炊飯器と温風ヒーターを同時に使用できる容量です。
【燃料】ガソリン
4ℓで約4時間稼働できます。

声の伝言板

●災害用伝言ダイヤル

災害時は電話回線が制限され、電話が非常に通じにくくなります。離れた家族や知人に対してメッセージを残し、聞くことができるのがこのサービスです。

●災害用伝言ダイヤル

171

伝言録音は 伝言再生は

171 171

1 2

市外局番からの電話番号 市外局番からの電話番号

災害用伝言ダイヤル「171」では、災害発生に備えて利用方法を事前に覚えていただくことを目的として、より多くの方が体験利用できる機会を提供しています。

【体験利用提供日】

毎月1・15日

屋内外、我が家の診断

屋内

- ① 家の中に、家具が倒れても安全なスペースを確保する
部屋が複数あるときは、人の出入りが少ない部屋に家具をまとめます。無理な場合は、少しでも安全なスペースができるよう配置換えなどで工夫しましょう。
- ② 寝室や子ども、高齢者、病人のいる部屋には倒れそうな家具を置かない
就寝中に地震が発生した場合、子ども、高齢者、病人などは、倒れた家具が妨げになって逃げ遅れる可能性があるため注意しましょう。
- ③ 家具の転倒や落下を防止する対策をとる
家具や壁や柱の間に遊びがあると倒れやすく危険です。また、家具の上に落下の危険のあるものを置かないようにしましょう。
- ④ 出入り口や通路には物を置かない
安全に避難できるように、玄関など出入り口までの通路に、家具や倒れやすいものを置かないようにしましょう。



屋外

- ① ベランダは常に整理整頓
●植木鉢など、落下の危険のあるものは防止柵を設置しましょう。
●ベランダから避難できるように、常に整理整頓をしましょう。
- ② ガラスの飛散防止
●窓ガラスや食器棚などに使われるガラスに、飛散防止フィルムを貼りましょう。
- ③ ブロック塀が倒れないように
●地中に基礎部分のないもの、鉄筋が入っていないものは補強しましょう。
●ひび割れや傾きがある場合は修理しましょう。
- ④ プロパンガスの転倒防止
●ボンベが倒れないように、鎖でしっかり固定しておきましょう。

どうなってるの？



各町内会で行われている「まちづくり意見交換会」で出された防災に関する意見の一部と、その時の回答を紹介します。

Q. 災害に対する組織は町ではどうなっているか。(大折町内会)

A. 災害発生時には地域防災計画によって災害対応を行います。国も防災計画があり、国でも、原子力発電所の事故など県を越えた大きい災害に対応するために防災計画の見直しに入っています。それを受けて県でも見直しを行うので、町では県と連携し、いろいろな災害に対応できる防災計画を作成していきま(総務課長)

Q. M8程度の地震への対応は訓練できていない。徹底した対策を立ててもらいたい。(幅町内会)

A. 町防災計画はあるものの、実際の訓練が必要です。自分の地域は自分で守る必要があるため、地域と協力して災害に強い町にしたい。(総務課長)

Q. 役場の庁舎が老朽化しているが大丈夫か。役場がつぶれると町がつぶれる。(野町内会)

A. 昭和43年の建物。耐震診断の結果、大きな地震が来た場合に崩壊する危険性があると判断されました。改修の検討をします。(総務課長)

Q. 家庭用の防災無線の点検はしないのか。(長沢1・2・3町内会)

A. 受信機は町で貸し出しているものなので、故障した場合は町に持って来てください。必要な情報は防災無線を通じてお知らせします。(総務課長)

▼問い合わせ

舟形町災害対策本部
(舟形町総務課総務班)
☎(32) 2111 (内線321)

家族で確認！防災対策

災害は、家族が全員一緒のときに発生するとは限りません。日中、それぞれの用事で外出しているときに災害が起きて慌てないですむように、日頃から約束事を決めるなど、よく話し合っておくことが大切です。



①役割分担を決める

- 日常の予防の役割と、災害発生時の役割を決めておく。
- 高齢者や乳幼児などがある場合は、担当を決めておく。

④危険箇所をチェック

- 家の内外をチェックして、危険箇所を探す。
- 危ない箇所が見つかったときは、修理や補修方法について話し合う。

②安全な空間を確保

- 家具の配置換えをして、家の中に安全なスペースを確保する。
- 家具の転倒、落下を防止する対策をとる。

⑤非常時持ち出し品のチェック

- 必要な非常時持ち出し品がそろっているか、確認をする。
- 定期的に、保存状態や使用期限を点検し、交換する。

③防災用具などの確認

- 消火器や救急箱、非常用品の置き場所を確認しておく。
- 消火器の使い方を覚えておく。
- 応急手当ての方法を覚えておく。

⑥連絡方法や避難場所の確認をする

- 家族が離ればなれになったときの連絡方法や、避難場所を決めておく。
- 休日などを利用して、避難場所の下見などをしておく。
- 連絡カードを作り、家族で携帯しておく。

家庭で準備しておくものー非常時持ち出し品

- 懐中電灯
一人に1つ用意。できれば予備電池・電球もあわせて準備。
- 非常食・飲料水
調理不要な缶詰、乾パン、ペットボトルなど3日分を用意。
- お金・貴重品
公衆電話の利用などに必要な10円玉、テレホンカードなど。通帳、保険証、免許証なども準備。
- 携帯ラジオ・携帯電話
ラジオはAM・FMの両方聴取できるもの。
- 軍手・タオル・着替え
衣類は、夏場でも長袖・長ズボンを用意。めがね、補聴器なども。
- 医薬品
常備薬のほか、包帯、ばんそうこう、かぜ薬、解熱剤、胃腸薬など。かぜ・インフルエンザ予防にマスクも常備。



町内で準備しておきたいものー公民館などで備蓄

- 食料
缶詰、カップ麺など。非常食3日分プラス数日間分を目安に確保しておく。
- カセットコンロなど
大勢の炊き出しや、冬場の備えとして準備。
- その他
●毛布・タオル ●土のう袋 ●ピニールシート ●発電機・投光器 ●携帯トイレ ●使い捨てカイロ ●チェーンソー ●テレビ・ラジオ ●バケツ・なべ ●筆記用具・ガムテープ ●はしご・ロープ ●救急セット ●地図 など
- 水
一人当たり1日1~3リットルを目安に。ポリタンクへの汲み置きなど。
- 消火・救助用品
消火器、のこぎり、スコップ、バール、車のジャッキなど。



大規模地震では行政も被災
「いかに落ち着いた行動をとることができるか」がポイントになります。大地震発生から3日間は公的支援が受けられない可能性があります。また、行政も被災する場合があります。この期間、自分たちで乗り越えられるような行動パターンを確認しておく必要があります。

第31回 ふながた若鮎まつりで



スマイルビーム

未来戦士
スマイルマン

舟形町のご当地ヒーロー



ふながた若鮎まつりは、舟形町のみなで創るまつりなんだ。一生懸命練習して発表したみんな、Tmプロジェクト・FIT'S・高ボラのみんな、おかげでたくさんの方が笑顔になったぞ！ありがとう！

9月10日(土)、11日(日)、アユパークふながたを会場に「第31回ふながた若鮎まつり」が開催され、約24,000人のお客様が「舟形町」を満喫しました。

子どもエリアでは子ども鮎つかみどりやトーマス機関車など、ステージエリアでは芸能文化協会発表会や小学生の踊りや太鼓、ふるさとまつり、水前寺清子さんの歌謡ショーなどが行われました。さらに、食のエリアでは焼き鮎(約10,400匹)が特別価格の250円で提供されました。

また、今回は東日本大震災で被災し町に避難している方約30名や、宮城県・福島県などから約100名の方を招待したほか、来場したみなさんから被災地への義援金として47,898円をいただきました。

「舟形町から元気を」を合言葉に、笑顔いっぱいのまつりになりました。



プレミアム付き商品券抽選結果

- 1等……渡邊 友子さん(紫山)
豊岡真由美さん(長者原)
2等……佐藤 喜恵さん(新庄市)
中川 新一さん(最上町)
木村喜枝子さん(長者原)ほか

※その他の当選者には直接お知らせします。

▼問い合わせ/もがみ南部商工会舟形事務所 ☎(32)2242

ふながた味力コンテスト審査結果

- 【漬物の部】最優秀：舟形マツシユルム
『マツシユルムの佃煮風漬物』
優 秀：齊藤 澄子さん(福寿野)
『きゅうりの佃煮風漬物』
【菓子の部】最優秀：黒川 典子さん(舟形第2)
『野菜のおやま』
優 秀：佐藤 淳子さん(西堀)
『ずんだムース』

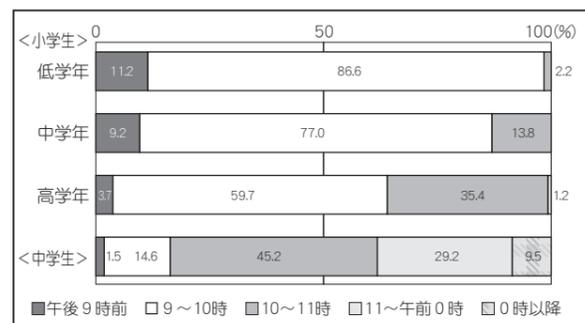


食生活・生活リズムに関するアンケート

6月中旬実施／対象…小学生 259名・中学生 139名

生活習慣や食生活のリズムが、体の健康のみならず、心の健康にも影響したり、学習にも深く関与しているといわれています。町内の小・中学生を対象に「食生活・生活リズムに関するアンケート」調査を実施しました。

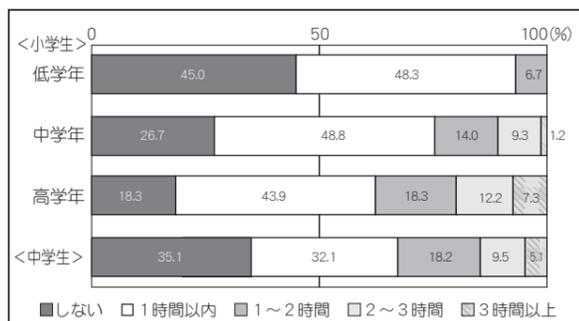
夜、何時頃寝ていますか？



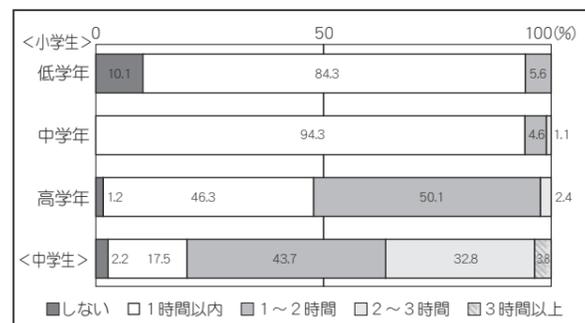
個人差もありますが、翌日に疲れを残さずスッキリ目覚めるためには、遅くとも小学生では午後10時、中学生でも午前0時には寝ることが望ましいです。そのためには、寝る時刻から逆算し、しなければならないことを見通しを持って生活することが大切です。

日にどれくらいゲームをしていますか？

小学校では、学年が上がるにつれて、ゲームに時間をかけている子どもが増えています。1日に「2時間以上」ゲームをしている子どもは、小学校高学年では約20%、忙しい中学生でも約15%います。テレビやインターネットの時間を合わせると、「メディア漬け」が懸念される結果となっています。ゲームに支配されないように、読書や手伝いなどの楽しみややりがいを教えていくことが、とても大切です。

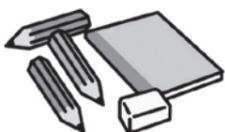


日にどれくらい家庭学習をしていますか？



小学校では、町で掲げている学年ごとの目安の時間で学習している子どもが多く、学年が上がるにつれて時間も増えています。中学校では、学習時間と学年との相関関係は見られない結果となりました。

学習と娯楽としてのゲームの時間のバランスや、何を優先しなければならないかなどを見通しを持って生活できるように、小学校から指導していくことが大切です。

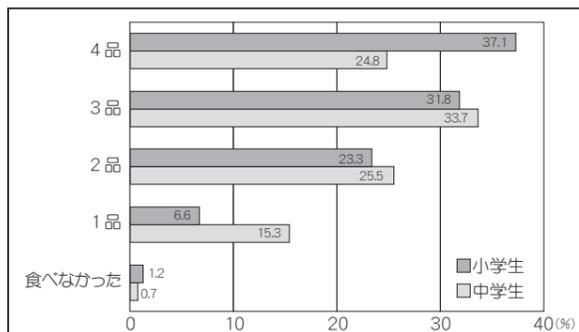


朝食の品数は？

「主食・主菜・副菜・汁物」のうち何品食べているかを調査しました。「ごはん+主菜+味噌汁」「パン+主菜+牛乳やスープ」の組み合わせが最も多く、副菜(野菜中心のおかず)を食べない傾向にあります。これからは「朝食の質」を考えて食べるようにしましょう。



また、「野菜が嫌い」という子どもが圧倒的に多く、保護者からは「食卓に準備しているのに食べない」という声もありました。



海と緑のふれあい スポーツ、健康、人づくり。

B&G

ブルーシー・アンド・グリーンランド財団

真夏の一大冒険!

～参加者の感想～

海洋体験クルーズ

小・中学生を対象に、海の大自然と触れ合う5泊6日の体験クルーズが行われました。全国から集まった子どもたちと交流を深めながら、洋上での海洋観察をはじめ海・船に関する学習や寄港地でのいろいろな自然体験活動を行いました。8月17～22日、2名が参加しました。



飯田健太郎くん (舟形小6年)

海洋観察では、アホウ鳥やクジラなどの勉強をし、海の大切さを知ることができました。カヌーやシュノーケリングでは、きれいな魚やサンゴに囲まれながらの水中散歩を楽しむことができました。

また、真っ青なボニンブルーの大海原に囲まれてのデッキランチや、正装してのテーブルマナーなどの食事也大満足でした。

日頃、体験することのできない経験や、たくさんの友達ができとても良かったと思います。そして、1人ひとりが自然の大切さを知り、大切に守らないといけないと思いました。



佐藤つなみさん (堀内小5年)

人の多さに始め驚いたけど、少しずつ友達できました。船の中では、イルカやクジラのことなどいろいろな勉強をしました。小笠原に着いて、ウミガメを触ってみたら、大きくて硬くて重かったです。世界遺産になった小笠原に行くことができたことはすごいことだと思いました。

実は、2日目にお母さんに会いたくなくて泣いてしまいました。でも友達からなくさめてもらいました。そして最後の日は、友達と別れるのが悲しくて泣いてしまいました。

こんなすばらしい体験をさせてくれた、ふじ丸のみなさん、B & Gのみなさんありがとうございました。

海洋体験セミナー

全国の小中学生を対象に、4泊5日の「海洋体験セミナー」が行われました。沖縄を活動地にカヌーによるマングローブ林の探索やビーチコーミングなど、いろいろなマリンスポーツを体験しました。8月7～11日、2名が参加しました。

奥山 日和さん (富長小5年)

私は、今回海洋体験セミナーに参加して、貴重な体験をたくさんすることができました。一つ目は、イルカを触ったことです。イルカを触ったのは初めてでした。二つ目は、美ら海水族館です。目の下が光る魚や、ジンベイザメにくっついて魚がいたりして、とても可愛かったです。三つ目は、シュノーケリングをしたことです。水を飲んでしまい、とてもしょっぱくて苦かったです。

大きくなったらまた沖縄に行って、今の沖縄と比べてみたいです。

町では、この活動に「舟形町海外研修及び国内研修制度補助金交付規程」で支援を行なっています。海洋体験学習は、子どもたちにとって貴重な体験になるはずですよ。

▼問い合わせ/舟形町B & G海洋センター ☎(32)3501

▼B & G財団法人ホームページ/http://www.bgf.or.jp/



山ちゃん日記 Vol. 9

～チャレンジ農業実践塾通信～

おかひじきが給食に



9月1日、舟形小学校の学校給食におかひじき栽培倶楽部（代表伊藤啓さん）の生産した『舟形産清流シャキシャキおかひじき』が登場しました。今回のメニューは、歯ごたえを活かした和風サラダです。

食べる前に、名前の由来や含まれる栄養素、生産量全国1位が山形県であることなど、おかひじき雑学も学習しました。それに対して子どもたちからは新メニューが提案されました。

今後も『舟形産清流シャキシャキおかひじき』の魅力をたくさんの方に広めていきたいと思ひます。



しゃきしゃきしておいしいです。

伝えよう舟形小唄

わだい④

「鮎の香りは日本一、舟形よいとこヨイヨイヨイ」舟形小唄は、町民に愛される舟形町独自の踊りです。9月3日、1週間後に控えた第31回ふながた若鮎まつりの「ふるさとまつり」で披露するための練習会が行われ、約30名の参加者が軽やかに踊りました。

参加者の一人は「舟形小唄はみんなが気軽にできる、とても覚えやすい振付です。たくさん参加してこれからも、みんなで踊りましょう。」と話していました。



安藤ノフさん白寿

わだい⑤

9月7日、数えて99歳の白寿を迎える安藤ノフさん（舟形第4）に吉村美栄子県知事から賀詞が贈られました。安藤さんは足腰もしっかりしていて、三味線を弾いたりもします。知事から健康の秘訣を聞かれると、「20年前から毎日続けているラジオ体操や好き嫌いなく食べることです。鮎も大好きですよ。」と答えました。また、今年県内で白寿を迎える479名を代表し、県知事から直接受け取ったことについて「とてもうれしいです。」と話していました。



ほなみ増築安全祈願祭

わだい①

8月22日、地域密着型介護老人福祉施設ほなみの増床工事の安全祈願祭が行われました。安全祈願祭には、奥山町長ら関係者約40名が出席。井上達磨理事長は「町の方々から親しまれる施設にしていきたい。」とあいさつしました。

現在の10床から29床に増やす予定で、中央部に事務室やリビングを設け、職員と利用者の触れ合いができる間取りとなっています。



高倉山遺跡で発掘調査

わだい②

8月27日から9月7日にかけて、富田地区の高倉山遺跡で発掘調査が行われました。調査主体は東北大学大学院文学研究科考古学室で12名が参加。遺跡からは、約2万年前の旧石器時代のナイフ型石器や搔器など約1,000点が出土しました。

今回の調査で佐野勝宏助教は「展示できるような大きく貴重なものが多数出土しました。今後、年代や分布範囲などの調査を進めます。」と話しました。



町青少年育成町民会議総会

わだい③

8月31日、町青少年育成町民会議総会が開催されました。「花いっぱいコンクール」で昨年度優秀賞を受賞した木友町内会と今年度受賞した富田町内会が表彰されました。「地域ぐるみ、みんなで伸ばそう！ふながたの子ども」をスローガンに事業計画などを確認しました。

また、町PTA交流会も行われ、最上教育事務所の大場喜一氏をアドバイザーに迎え、地域と学校とPTAが連携した家庭教育活動への意見を交換しました。



9月10日、5月に舟形町を訪れた五橋中学校の文化祭「五橋祭」に自然田舎まるごと体験実行委員ら11人が参加しました。そばの振る舞いや旬の野菜の販売などを行いました。



9月9日、西堀老人クラブ「山鳩会」（会長鈴木勝治さん）が購入希望者にヘルメットを配布しました。災害時着用はもちろんですが、防災意識の高揚につなげようとしたものです。



9月4日、第21回県将棋最強戦で橋澤英昭五段（舟形第2：写真右）が第3位となりました。7月に行なわれた第55回東北六県将棋大会でも活躍し、団体4位に大きく貢献しました。



9月4日、第6回舟形町民ゴルフ大会が県民ゴルフ場で開催。参加者35名は、秋晴れの中ラウンドを楽しみました。なお、第7回大会を10月10日に予定しています。



縄文炎祭イベントを約2カ月後に控え、8月21日、Tmプロジェクトと西堀町内会らイベントに向けての胎動式と会場となる縄文女神の丘の下刈りを行いました。



齊藤重年さん（舟形第3）の畑になったナス。収穫しようとしたらびっくり、まるで野球のクラブみたい。漬けても焼いても食べ応え十分ですね。

まちのわだい

舟形町ではホームページを開発しています。中でも「Oh! News」は新鮮な情報が満載。舟形町HP <http://www.town.funagata.yamagata.jp/>

8月2日～9月1日届出分

◆ご結婚おめでとう

一の関 沼澤 伸也
新庄市 (佐藤) 麻由佳

◆お誕生おめでとう

経壇原 大場すみれ (洋一 奈津美)
舟形第3 大類 天寧 (和広 奈保子)
沖の原 佐藤 珠榎 (貴徳 さとみ)
松橋 松井日衣夏 (淳草)

◆おくやみ申し上げます (世帯主)

一の関 沼澤 教雄 84 (政光)
一の関 今田美佐子 85 (実)
長者原 叶内 義則 82 (秀一)
実栗屋 東海林参次郎 83 (ミトセ)
実栗屋 竹澤カツノ 81 (満寿男)
洲崎 澤内 重藤 81 (修一)
洲崎 高山 イシ 83 (本人)
えんじゅ荘 伊藤 俊美 84 (本人)

○掲載を希望しない方は、届出の際に申し出てください。

人口と世帯

8 / 31 (現在)
男 : 3,040人 (-10)
女 : 3,145人 (±0)
計 : 6,185人 (-10)
世帯 : 1,905世帯 (-5)

() は前月比

選挙人名簿登録者数 (9/2 現在)

男性 2,496人
女性 2,699人
計 5,195人

今年成人式を迎えました!



カメラアングル camera angle

豊岡宏吉さん (長者原)

- ◆好きな言葉は?..... 若者よお前の若さを喜びがよい。青年時代を楽しく過ごせ。(聖書より)
- ◆趣味は何ですか?..... 関西・東海地方に遊びに行くこと
- ◆尊敬する人は?..... 秋元康
- ◆舟形町のいいところは?..... 静かなところ
- ◆最後に成人式を終えて..... 少年の心を忘れず、大人になればと思います。

「☆こころのビタミン☆」

スポーツの秋。気軽にできるスポーツとしてウォーキングがおすすめです。ウォーキングをすると生活習慣病予防だけでなく、全身の血流が増加し、脳や神経に酸素や栄養が大量に送られて、脳の動きが活発になります。さらにα波という脳波が出ることで、心と体のリラクゼーション効果があります。



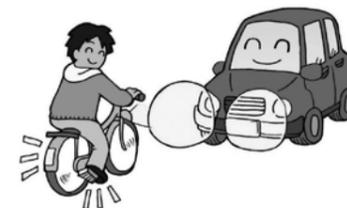
◎ウォーキングを続ける4つのポイント◎

- ① 1日1000歩増やすことから始めよう。
1000歩は時間にすると約10分です。慣れてきたら少しずつ歩数を伸ばしていきましょう。
- ② 歩きやすい靴に変える。
最近はウォーキングシューズも種類が豊富です。歩きやすい靴は、ウォーキング意欲を高めてくれます。
- ③ 背すじをのばして歩く。
あごを引きまっすぐ前を見て歩くと、背中や腰にも負担がかかります。
- ④ 自分に合った方法で楽しく歩く。
仲間と歩いたり、距離や消費エネルギーが分かる歩数計を使ったりすると楽しく励みになります。

▼問い合わせ/舟形町健康福祉課健康介護班 ☎ (32) 2111 (内線353)

まちづくり課 No.317

青いシグナル



秋の交通安全県民運動実施中! (9月21日~30日)

1. 夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗用中の交通事故防止
◆反射材をつけると夜間の視認性は 約4.3倍 (H22年: 反射材を着用した場合の視認性) 歩行者は、「見る」安全、「見せる」安心! 目立つこと、見せることが大切です。夕暮れ時は早めの点灯を! 自転車に乗る時はライト点灯を忘れずに!
2. 全座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
◆シートベルト非着用者の致死率は、着用者の 約14倍 (H22年: 乗車全席比較) 後部座席も含め、全ての座席でシートベルト着用を! チャイルドシートは正しく使用しましょう
3. 飲酒運転の根絶
◆飲酒運転での死亡事故率は飲酒なしの 約8.7倍 (H22年: 飲酒なしとの比較) 少しのアルコールでも、脳は「麻痺」状態! 飲んだら絶対運転してはいけません。飲酒運転は絶対に「しない、させない、許さない」の声掛けを徹底しましょう。
4. 道路横断時・交差点における事故防止
◆交通事故死者数の高齢者の比率は 約50.4% (H22年: 65歳以上の構成率) 道路を渡る時は、横断歩道を利用しましょう。「いつでも・どこでも安全確認」十分な左右の安全確認を忘れずに! 「しっかり止まって、はっきり確認」の実践。

運動の重点

交通安全運動実施中

がんばっぺ 東北



第2回復興ボランティアの様子。参加者は12名「泥出し」という作業を行いました。

～被災者支援の動き～

みなさんの善意に感謝申し上げます。
●義援金/4,195,672円 (9月13日現在 日本赤十字舟形支部受付分) ●支援物資提供者/189名
●物資数/約10,300点 ●ボランティア登録数/61名 (9月13日現在 日本赤十字舟形支部受付分)

舟形町復興ボランティア募集中

- ▼日 時/10月14日(金)・28日(金) 午前5時30分～午後7時
- ▼派遣先/石巻市
- ▼対象/18歳以上(高校生を除く)の舟形町民で健康な方
- ▼作業内容/被災住宅の泥出し・片付けが中心。女性ができる内容もあります。
- ▼定 員/15名程度(4名以下の場合は中止)
- ▼交通手段/役場に集合し、町マイクロバスで送迎。
- ▼メ 切/希望日の3日前まで
- ▼傷害保険/490円の自己負担で当日加入。
- ▼申込み・問い合わせ/舟形町被災者支援室 ☎ (32) 2111 (内線313) FAX (32) 2117 tyosei@town.funagata.yamagata.jp

舟形町名誉町民

大場啓二 元世田谷区長を偲んで



～大場啓二さんの主な経歴～

- 大正12年 舟形町長沢(長沢第1)に生まれる
(長沢小学校卒業)
- 昭和15年 東京都経済局に入局
- 昭和18年 世田谷区役所に配属
- 昭和50年 世田谷区長に初当選(7期28年)
- 平成7年 特別区長会会長に
- 平成15年 世田谷区長を退任
舟形町名誉町民に
- 平成16年 旭日中綬章を受章
世田谷区名誉区民に
- 平成23年9月1日 永眠

舟形町名誉町民で元東京都世田谷区長の大場啓二氏が、9月1日にご逝去されました。享年88歳でした。大場啓二氏は舟形町長沢の出身で、昭和50年より7期28年にわたり世田谷区長として地方自治拡充のため誠心誠意努力し、住民福祉の向上に多大な貢献をなされました。

舟形町を離れてもふるさとを忘れず、長沢小学校に多くの図書や数種の桜を贈り、子どもたちの健やかな成長を見守ってくださいました。そして、同氏の肝いりで始まった世田谷区立山崎小学校、代沢小学校との児童交流は大きな成果をあげています。また、長沢八景句碑や長沢小唄歌碑の建立にも尽力されました。

生涯ふるさとを愛し、ふるさとに数多くの業績を残されました。これら有形無形の足跡はこののちも燦然と輝き、敬慕の念をもって語り継がれ、舟形町の歴史にその名を刻むことでしょうか。

心からご冥福をお祈り申し上げます。

空欄に文字を入れてください

10月の舟形町復興ボランティアは
14日(金)と〇〇日(金)

郵便ハガキに、○に入る答えと住所・氏名・電話番号を明記してご応募ください。【×切：10/14必着】

▼応募先/〒999-4601 舟形町舟形263
舟形町役場 広報ふながたクイズ係
メールからの応募もできます。

▼アドレス/info@town.funagata.yamagata.jp

※当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。



舟形若あゆ温泉
協賛

★広報ふながたクイズ!

「1名様に若あゆ温泉入浴券
(2回分)プレゼント」

表紙の紹介

奉納さばね山相撲大会が開かれ、町内の小中学生ら約70名が熱戦を繰り広げました。

表紙は選抜選手による北の湖杯、学年ごとの個人戦、そして3人抜きを制した八鍬悠太くん(舟形小6年)です。

